



BLUE BOTTLE
COFFEE

vol.04
Mar 5, 2015

ブルーボトルコーヒー 日本2号店 青山カフェ 3月7日オープン

青山限定フードメニュー、当社初のオリジナルカップ&ソーサーを販売

ブルーボトルコーヒージャパン合同会社（本社：東京都江東区、代表：ジェームス・フリーマン）は、
当社のカフェの旗艦店となる日本2号店「青山カフェ」を東京都港区に2015年3月7日にオープンいたします。



ブルーボトルコーヒー 青山カフェは、表参道駅から徒歩3分の距離にありながら、街の喧噪から少し離れた場所に位置します。緑のある自然の中でゆったりとコーヒーを味わえる空間をコンセプトとし、ファッションな人々やビジネスパーソンの多い、大人の街である青山らしい設えにしております。

さまざまな目的の人々が訪れるこの場所では、一人ひとりが目的やスピード感に合わせて席を選び、居心地のよさを感じられるような空間を提供させていただきます。

青山カフェは日本におけるブルーボトルコーヒーのカフェの旗艦店としてカフェスペースの充実を図り、エスプレッソドリンクとハンドドリップのコーヒーをご提供するバーカウンターの他に、約70席の客席を設けております。また、アメリカ、カリフォルニアらしいナチュラルでシンプルなフードメニューも日本初上陸となるほか、清澄白河ロースタ

リー&カフェでも人気のペイストリーも、同様にお楽しみいただけます。また今回、ブルーボトルコーヒーの信念である「美味しいコーヒーをお届けしたい」というこだわりを具現化したオリジナルカップ&ソーサーを株式会社 キントー（滋賀県彦根市、以下 KINTO）とコラボレーションし、開発いたしました。

このカップは、見た目の美しさと使い勝手のよさを兼ね備えた食器類のデザインで定評がある KINTO のドリンクウェア TOPO をベースにこの商品のデザイナーである安積伸氏が、デザインを再構築しました。創業者のジェームス・フリーマンは国や地域に根ざした店作りを目指しており、日本において美味しいコーヒーを楽しむために最適なカップとは何かを考えた結果、KINTO とのコラボレーションに至りました。このカップは、まず青山カフェで先行販売を行い、その後米国店舗でもサービスで取り扱う予定です。

Our Aoyama Menu 青山限定メニューのご紹介 (一部)

※ページ内はすべて税込み表示

フードメニュー



▶ ベニエ (ソルテッドキャラメルソース) 600円

オリジナルグッズ



▶ オリジナルカップ&ソーサー (エスプレッソ) 2,000円
▶ オリジナルカップ&ソーサー (カプチーノ) 2,200円
▶ オリジナルカップ&ソーサー (ラテ) 2,500円

Who we are? ブルーボトルコーヒーとは



ブルーボトルコーヒーは、2002年にジェームス・フリーマンによって創設され、現在はサンフランシスコ、ニューヨーク、ロサンゼルス の3都市圏で16店舗を展開しています(2015年2月3日現在)。ブルーボトルコーヒーは「おいしさ」を徹底して追求しています。コーヒー生豆は厳しく選別され、カフェで販売する豆は、焙煎されてから48時間以内の豆のみを店頭に並べます。カフェオープンにあたっては、まずロースタリーを設け、焙煎したてのコーヒーが配送可能な範囲にのみカフェをつくることで、お客様に新鮮なコーヒーを提供することを実現します。ジェームス・フリーマンが触発されてきた、日本の洗練された喫茶文化やおもてなしの文化と、シリコンバレーで知られるベイエリアならではの、自由で開放的なカルチャーの両方がブルーボトルコーヒーの発展に寄与してきたことも、欠かせない歴史のひとつです。新鮮でおいしいコーヒーや、ホスピタリティ、サステナビリティ(持続可能性)に配慮した

ビジネスが投資家の注目と賛同を集め、2012年10月に19.7百万ドル(約20億円)、2014年1月に24百万ドル(約25億円)の資金を調達し、急成長を続けています。

Shop Info

ブルーボトルコーヒー
[清澄白河 ロースタリー&カフェ]
〒135-0023
東京都江東区平野 1-4-8
店舗面積 60㎡(カフェエリア)
181㎡(焙煎エリア)
カフェ席数 8席
営業時間 年中無休
8:00~19:00

[青山 カフェ]
〒107-0062
東京都港区南青山 3-13-14 2F
店舗面積 189㎡(室内)
46.2㎡(テラス)
営業時間 年中無休
10:00~21:00

問い合わせ先 Blue Bottle Coffee Japan合同会社 広報担当: 井川 沙紀 japan_press@bluebottlecoffee.com (日本語・英語可)